

妙法蓮華經提婆達多品第十二

深く罪福の相を達して 遍く十方を照したもう
微妙の淨き法身 相を具せること三十一八十種好
を以て 用て法身を莊嚴せり 天人の戴仰する所
龍神も 咸く恭敬す 一切衆生の類宗奉せざる者
なし 又聞いて菩提を成ずること唯佛のみ当に
証知したもうべし 我大乘の教を闡いて苦の衆生
を度脱せん

爾の時に舍利弗。龍女に語って言わく。汝久し
からずして。無上道を得たりと謂える。是の事
信じ難し。所以は何ん。女身は垢穢にして。是れ
法器に非ず。云何ぞ能く無上菩提を得ん。佛道は
懸曠なり。無量劫を経て。勤苦して行を積み。具
さに諸度を修して。然して後に乃ち成ず。又
女人の身には猶お五つ障あり。一には梵天王とな
ることを得ず。二には帝釈。三には魔王。四には
轉輪聖王。五には佛身なり。云何ぞ女身速かに
成佛することを得ん。爾の時に龍女の宝樹あり。
価直三千大千世界なり。持って以て佛に上る。

佛即ち之を受けたもう。龍女。智積菩薩。尊者
舍利弗に謂って言わく。我宝樹を献る。世尊の
納受。是の事疾しや不や。答えて言わく。甚だ疾
し。女の言わく。汝が神力を以て我が成佛を觀よ。
またこ復此れよりも速かならん。当時の衆会。皆龍女の
忽然の間に。變じて男子と成つて。菩薩の行を具
して。即ち南方無垢世界に往いて。宝蓮華に坐して
等正覺を成じ。三十二相。八十種好あつて。普く
十方の。一切衆生の為に。妙法を演説するを見る。
爾の時に娑婆世界の。菩薩。声聞。天。龍。八部。
人と非人と。皆遙かに彼の龍女の成佛して、普く時
の会の人天の為に法を説くを見て、心大に歡喜し
て。悉く遙かに敬礼す。無量の衆生。法を聞いて

解悟し。不退轉を得。無量の衆生。道の記を受く
ることを得たり。無垢世界六反に震動す。娑婆世界
の三千の衆生。不退の地に住し。三千の衆生。
菩提心を発して授記を得たり。智積菩薩。及び
舍利弗。一切の衆会。默然として信受す。